

# 埼玉労山

埼玉県勤労者山岳連盟機関紙 発行：武笠真次  
 〒336-0011さいたま市浦和区高砂4-1-5ふじビル2階 編集：青木 正  
<http://www.justmystage.com/home/tozans/index.html>  
<http://www.justmystage.com/home/tozan/>

## 09年度第1回評議会開催 遭難対策・安全教育担当者会議 第14期埼玉労山登山学校開校

六月二十一日(日)午後、与野コミセンにて第一回評議会が開催されました。議長杉江氏(新座)・高梨氏(あすなろ)書記・天野氏(日進)により議事が開始。

### 議題

#### 1 全国連盟活動報告

\* 武笠理事長よりメディア構想・遭難対策特別基金等  
 \* 全国連盟ハイキング委員長より交流集会の報告

#### 2 クリーンハイキング報告

中部：笠山にて3コースで実施。45参加7団体。  
 頂上神社付近にゴミ多かつた。昼ごろより雨、下山。

西部：高麗を中心に実施。九十六名参加七団体。ゴミはかなり少なくなっている。南部：顔振峠に登るコース。二十四名参加。

登山道にはゴミは少なかったが、林道には多かつた。北部：葦山周辺で2コース実施。二十九名参加。神社周辺にゴミあり。総量13.5kg回収。

#### 3 会活動経験交流集会

初めに理事長より挨拶、県連ホームページに掲載し会活動をアピール・情報交換・交流を深めていきたい。会員増加のためにも積極的に活用したい。

用して紹介や発表が行われました。  
 \* 所沢HCのホームページを紹介。「目的は会員間の情報交換と会員増加を期待して。ホームページを見て3人位入会している。」  
 \* ハイジアルペンクラブのホームページを紹介。「会員はホームページでほぼ情報達をこなしている。入会もホームページからが圧倒的に多い。」  
 \* 熊谷トレッキング同人「ホームページで山スキーに対する問い合わせが外部の方から有り。新入会員の申し込みも有る。」  
 \* その他、岩つばめ・新座山の会から紹介。

#### 4 県連ホームページの紹介とこれからの活動方針

小松HP担当より「県連ホームページの、加盟山岳会の紹介文を送って頂いて今後も充実させてゆく」と提案。

#### 5 その他

\* 遭難対策・安全教育担当者会議報告。  
 \* 日和田の岩登りについてのお願い。日和田アルペン

クラブ甲斐さんより。「クライミングにおいて事故が多発しています。また死亡事故が起ると禁止に成る可能性が有ります。」と報告がありました。この事について、救助隊長より「岩登り・沢登りには、全てヘルメット着用が基本です。人工ボード・ボルダリングから始めた方にヘルメット未着用が多いようです。自然に対する危険感覚・仲間への配慮も薄いように思います。」

### 第8回遭難防止・安全教育担当者会議報告

六月二十一日(日)午前与野本町コミセン(和室)。理事八名、委員十四団体、十六名 合計二十四名の出席で行われました

### 議題

#### 1 重大事故が多発する現状を受け「非常事態宣言」が発せられました。

全国連盟遭難対策部長(埼玉県連救助隊顧問)の井芹昌二氏より「非常事態宣言」が発令された背景と遭難事故全般に関して、講演がありました。

『四月に「非常事態宣言」を発信した後、五人の仲間を失い、今年の死者・行方不明者が十一人になってしまった。これから夏山、秋山シーズンを迎えるにあたり、各会・クラブの遭難対策担当者には安全登山の指導をお願いしたい。』

行を事例に説明がありました。ポイントとしては、雨の予報(天候の異変) 出発時間の遅れ 装備(アイゼン)の不携帯状態での雪の斜面のトラバース パーティの分離・・・このようなケースでは山行を中止にすべき!

#### 2 武笠理事長より「新メディア戦略」について

埼玉労山のホームページ再開も合わせて、着実に進められている。遭難事故の要因に関して、所属する山の会における山

#### 3 「事故を起こす体質」に関して県連救助隊長より詳細な説明がありました

4. ヒヤリハット報告について 今回の報告はありますが、継続して提出をお願いいたします。

#### 5 質疑応答、その他

井芹全国遭難対策部長より「労山全国遭難対策本部は従来の事故報告書を「統一フォーマット方式」に改めました。これは労山、日山協、都岳連、日本山岳会などの共済または山岳保険をもつ団体が協力して山岳遭難防止のための事故データベースを作ることを目的としています。今後はこの統一フォーマットでの報告をお願いします。詳細は労山全国ホームページを参照して下さい。記録：三郷山の会 八木原



**第十四期登山学校開校式が五月二十三日(土)労働会館にて開かれました。**

今回は《登山学校HP》からの入校者も多く年間受講者二十一名とスポット三名(現在)を迎えました。スライドでのガイダンスも好評で校長はじめ運営委員十二名とで頑張ります。

**校長 武笠真次(わらび)**

事務局長 駒崎弘安(わらび)

事務局 小松勝浩(三郷)

伊藤正勝(わらび)

軽部 章(浦和)

高橋五男(くまざさ)

水谷克明(浦和)

徳重博文(大宮)

尾手利雪(三郷)

長谷川貞子(所ハイ)

八木原健一(三郷)

若木由和(山なみ)  
佐藤久子(三郷)

**登山学校 リベンジ**

十四期受講者の皆さん、運営委員の皆さんこんにちは、私は受講者名簿の一番の赤丸正男です。初めに改めて自己紹介をします。

昭和十五年一月生まれの六十九歳です。今回登山学校参加は二回目で初回は平成十三年でした。その時は最も自分自身山活動の盛んな時で学校の出席率も悪く内容は殆んど身についていませんでした。但し、その時の運営委員の方は良く覚えています。それとその時買い揃えたグッズは、今でも使っており財産です

私の登山の初めは成人した頃兄の所属していた登山クラブの山行に同行したのがきっかけでした。その頃は九州に住んでいましたので福知山を初めとして坊がつる賛歌で知られる久住や祖母・傾山に登りました。その後関東に移り周辺の山々、丹沢や北アルプス、南アルプス等に登りました。

最近所属山の会での山行が極端に少なく寂しい思いを持っていましたので、学校に入れば人に会える、一緒に山に行けると思って入

校しました。併せて初心に帰って一から学びたいと思っ

ています。体力はありませんが皆さんの足を引っ張らないように留意します。最後まで付き合ってください。お願いします。今までの経験は皆さんのお役に立

てる場面もあるかと思いつるのでどうぞ気軽に声を掛けて下さい。

赤丸正男

**抱負について**

先日の太平山での現地研修では、天気にも恵まれ、経験の少ない私でも大変気持ちよく山歩きすることができました。班編成も男女比や年齢、経験などを考慮していたのだと、世

代をこえて交流できたこともよい経験となりました。また、班に二人もスタッフの方がついてくださり、

フォロワーして下さったりアドバイスをしてくださったりと大変きめ細やかな対応に安心し、これからの講座が楽しみにになりました。

今回の入校では、登山の知識や技術を学べることはもちろんのこと、様々な職業や年齢の方との交流も楽しみにしています。学生のころ、地理は好き

な教科でした。今も地図を見るのは好きなので更に専門的な視点で読めるようになりたいと思っています。また、これまで経験したことのない、岩登りや雪山歩

きも楽しみです。

第十四期を受講される全員が思い出の詰まった閉校式になるように、メンバーシップをもつて参加したい

と思っていますので、一年間よろしくお願いいたします。

さいたま市 門田 生世

**第十四期登山学校開校式を終えて**

今年の始め、ふと思ひ立ち山歩きを再開したのですが、まず思い知らされたのは体力の低下。考えてみれば最後に山らしい山へ行ってから十五年以上が過ぎ、

三〇才前だった当時はなんの技術も持ち合わせないままがむしゃらに歩いてもなんとかなっていたものが、

もはや自己流では身体がついて行かない年齢になっていたわけです。

した。地元開催でしかもわたしのようにとこの山岳会にも所属していない者でも受講できるとのこと。ひとりで申込むのに若干の不安はありましたがとにかく受講申込みをしました。開校式のと聞いていたところで

は、本年度より本格的にインターネットを使って受講者募集を始めたとのことでしたので、これもわたしにとってはラッキーでした。

さて肝心の開校式の様子ですが、まず県連理事長でもある武笠校長より登山学校の目的、意義についての

お話があり、続けて第十三期登山学校の様子のスライド上映、運営委員のみなさんの紹介がありました。その後六月の第一回講座を担当される伊藤講師より第一

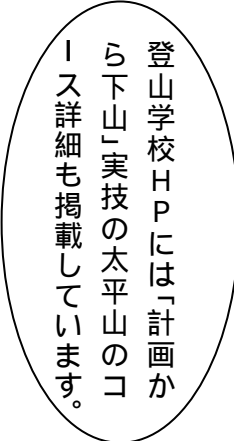
回講座のガイダンスがありました。このあたりからやや身が引き締まってきました。そして机上でのプロگرامが予定通り終了すると

いよいよ本日のメインイベント(?)、懇親会の始まりです。懇親会では受講者ひとりひとりの自己紹介がありましたが、もう複数年にわたってこの学校で受講されている方が大勢いらっしゃるのには驚かされま

した。これはなによりも運営委員みなさんの熱意のためのものであるのはもちろんのこと、わたしたち初めての受講者も自ずと講座の内容に期待が高まります。ごく短い時間ながらも非常に打ち解けた雰囲気懇親会もお開きとなりそのまま場所を変えて二次会へと移り、

会はずらに盛り上がり、ここでは詳細は書きませんが、とにかく「熱かった」です。そんなこんなで開校式も無事終わり、大袈裟かもしれない山人生が始まったような思いがしています。これから学んでいくことはどれも安全な登山のために必要不可欠な基本技術です。一年後、ここで学んだことをベースにさらにステップアップするためにも、仲間の受講者のみなさんと山の楽しみを分かち合いながら一年間頑張ろうと思うので

さいたま市 井上 達夫



# 理事会報告

第三回理事会が六月二十四日(水)県連事務所にて九名の出席で行われました。経過報告・計画予定

## 【全国連盟活動】

・六月二十日 全国事務所にてメディア構想話し合い  
・メーリングリストに各会の代表者を載せて欲しい。

武笠出席

・六月二十二日 ヤングクライマーズフォーラム  
(神奈川県民センター於)

武笠出席

## 【事務局】

・二〇〇九年度活動予定表作成。

・秩父アルペン(機関紙送付先変更依頼あり)

【財政】二十三団体入金済み  
・六団体未納(なるべく早めにお願ひします)

## 【女性】

・六月二十二日(月)委員会  
今年度の活動の取り組み打ち合わせ。

・六月二十三日(月)十月二十七日開催予定の「全国五十年女性のためのヒマラヤ学校」説明会報告。

第十一回東日本交流集会平成二十二年一月二十三日(二十四日)(高尾 於)

【ハイキング】六月二十七日(二十八日)全国ハイキング代表者会議(全国事務所

於)澤藤・赤丸 出席予定。

## 【自然保護】五月三十一日

クリーンハイク結果報告

七月五日二十三回谷川クリーンフェスティバル二〇〇九(群馬県連)

## 【遭難防止・安全教育】六月

月二十一日 遭難防止・安全教育担当者会議十四団体

二十四名参加(与野本町コミニティーセンター於)

・井芹氏(全国遭難対策部長)より「二〇〇九年四月十五日重大事故多発する現状を受け非常事態宣言」

も含め、資料及びスライドを交えた話がありました。

ヒヤリハット報告等。

【救助隊】七月十三日沢技術学習会、七月二十五日十六日沢搬出訓練(秩父大常木谷) 十名参加予定

平成二十二年二月二十日、二十一日関東ブロック深雪訓練予定。

【登山学校】『計画から下山』六月六日二十六名(運営委員八名含)六月七日実技「太平洋」二十八名(運営委員十名含)予定『登山と運動生理』机上七月四日、

実技五日「棒の折山」、運営委員会 六月二十九日

【岩ネット】六月十四日古賀志山 五名参加

予定 七月二十日井戸沢。

## 協議事項

1、遭難防止・安全教育担当者会議について(六月二十一日午前)

・井芹氏の話はとても良かったので、埼玉労山レベルでの講演を依頼したい。

2、第1回評議会について(六月二十一日午後)

・十六団体(十九名)と理事十二名参加。

・HPの説明(三郷山の会小松氏)と各会へHP紹介欄へのアクセス依頼。

反省点  
案内 補足説明の充実。

議長依頼の連絡を確実にして(南部)欲しい。

議決がない

3、クリーンハイクについて

4、安全登山講演会

日程候補 十一月二十九日 十一月十五日

予定講師に打診中

5、その他  
川越トレッキングクラブ

脱会についてその後。

卓運規約について。

## 救助隊役員会報告

六月十五日(月)十九時三十分より埼玉県労働会館に於いて八名の出席で救助隊役員会を行いました。

## 議題

## 七月の訓練について

七月十三日 机上学習会参加者確認

七月二十五日(二十六日)大常木谷参加者確認

西部B 安田・佐々木 若木・長谷川

中部B 軽部・谷脇・徳重 今井・柴山・小島

確認分まで

関東ブロック深雪訓練について

二月二十日(土) 十二時(十五時)

室内に於いての講習 室外に於いての講習

二月二十一日(日) 九時(十五時)

実動訓練・研修の二本立て

神奈川県連より平成二十年

度の準備概要の報告

机上講習の内容

へり救助について

学習会の講師を千葉労山救助隊の横山氏に打診することに決定。(後日、事務局

長より行う。打診の結果横山氏より快諾を受けました。)

事故報告について

マナイタ崙の事故について、群馬県連に打診してはどうか。

詳細は次回の役員会にて検討する。



第二回岩ネット報告(担当理事 尾手)

六月十四日(日)古賀志山

グレンデに於いて三郷山の会三名、浦和山の会一名、

所沢ハイキングクラブ一名、計五名で行いました。

前日の天気予報では午後より雨との情報でしたが現場

に行くと岩場の状態によって判断しようということ

で古賀志山グレンデに直行しました。

このグレンデは宇都宮周辺では唯一とあっていい岩場

で、古くから利用されています。近年ハードなフリー

ルートが追加され、初心者から上級者まで多くのクラ

イマーで休日は大変混雑します。一時禁止問題が起き

ますが、地主の方々のご理解で利用可能になりました。

このことを踏まえて節度ある行動をお願いしたいものです。

本日は前日、前々日の雨で雨が岩に染み込んでいる状態でしたが何とかルートを探し一番奥の不動滝左フェ

イス一般ルートからはじめ

ました。

簡単なルートでロープを一本垂らしトップロープでの

登攀、三本クリアで終了。まだまだ未熟なクライマー

ですが、これからレベルアップしながら岩登りを楽しんで行こうと思います。

帰る頃にはそこかしこでロープが垂れ下がり、多くのクライマーが楽しみフリー

の若者も登攀していました。ここ古賀志山グレンデはい

つも雨にたたられ岩場を見るだけでしたが、今日は何とか登攀出来たのでラッキー

でした。

尚、古賀志山グレンデ周辺は樹木の伐採が進んでおり、

そこらへんに道ができてすつきりしています。

次回の岩ネットは八月二十三日(日)三ツ峠(御坂)で前日発、ピッチクラ

イミングです。

よろしくお願ひします。

車を出してもらえの方は下記岩ネット担当理事及び事務局まで連絡をお待ちしています。

参加希望者は

岩ネット事務局 軽部迄

携帯 090-5414-9506

岩ネット担当理事 尾手迄

FAX TEL 048-957-8767

ote@mjglobe.ne.jp

## 2009年度埼玉県勤労者山岳連盟活動予定表

月	県連盟理事会	県連行事等	登山学校	全国およびブロック行事
7	2(木)三役会議 29(水)理事会	13(月)救助隊 沢技術学習会 20(日)岩ネット苦土川・井戸沢(那須) 25~26(日)救助隊 沢の搬出訓練	4(土)机上 登山と運動生理 5(日)実技 登山と運動生理 (棒の折山)	4~5(土日)労山中央登山学校・指導者 セミナー 5(日)第23回谷川クリーンフェスティ バル2009(群馬県連) 17(金)全国山岳遭難対策協議会
8	6(木)三役会議 26(水)理事会	23(日)岩ネット 三つ峠	1(土)机上 山での救急法 2(日)実技山での救急 法 (鹿沼の岩場)	
9	3(木)三役会議 30(水)理事会	7(月)救助隊 役員会 12~13(土日)岩ネット奥秩父小川山	5(土)机上 地図の読み方 6(日)実技(場所・未 定) 地図の読み方	5~6(土日)関東ブロック役員交流会 12~13(土日)全国ハイキング交流集会 (長野・唐沢鉱泉)
10	1(木)三役会議 28(水)理事会	17~18(土日) 救助隊合同訓練 (東京・神奈川・千葉・埼玉) 26(月)救助隊 岩搬出技術学習会	3(土)岩登り机上 4(日)岩登り実技 (日和田山)	24(土)アジア山岳連盟(UAAA) 年次総会(中国・香港) 31~11/1(土日)第9回全国救助隊交流 集会 関東ブロック自然保護集会(山梨県連)
11	5(木)三役会議 25(水)理事会 次期役員各会へ要請	1(日)岩ネット 広沢寺 9(月)救助隊 役員会 15(日)救助隊 岩場の搬出訓練	7(土)机上天気の見方 8(日)実技(場所・未定) 天気の見方	14~15(土日)全国自然保護担当者会議 (長野・信濃大町) 28~29(土日)第21回全国海外登山集会
12	3(木)三役会議 総会議案事務局集約 (水)理事会 総会議案討議	7(月)救助隊 雪上搬出技術学習会 20(日)岩ネット 幕岩	5~6(土日) 総合学習登山 (場所・未定)	
1	7(木)三役会議 20(水)理事会 総会議案確認 次期役員体制 最終確認	23~24(土日)救助隊 雪上搬出訓練(圧 雪) <b>24(日)第2回評議会</b> 30~31(土日)関東ブロック雪崩講習会 31(日)岩ネット 場所未定(アイスクライミング)	16(土) 雪山歩き 机上 17(日) 雪山歩き 実技 (那須岳)	23~24(土日)第11回東日本女性登山交 流集会(東京・高尾の森)
2	4(木)三役会議 24(水)理事会 評議会意見集約議案 書決定	15(月)救助隊 役員会 20~21(土日)関東ブロック遭対部・救 助隊合同 深雪搬出合同訓練交流会 28(日)岩ネット 湯河原 幕岩	6(土)閉校式	12~14(金土日)第24回雪崩を防ぐため の講習会(中ア・宝剣岳、黒姫山) <b>20~21(土日)第29期全国総会</b>
3	4(木)三役会議 議案書印刷発送 24(水)12回理事会 会計監査実施 総会財政資料印刷	<b>28(日)第43期 県連総会</b>		
4		5(月)救助隊 総会		

上記の他に各ブロックでは親睦や、交流の場や山行が設けられています。各自の予定等に入れてお役立てください。

## &lt;編集後記&gt;

6月の初めに九州は大分の由布岳と久住山を登ってきました。『ミヤマキリシマ咲き誇り~』の通り、山一面がピンクに染まるのを見て感動してしまいました。もうすぐ夏山の季節ですネ!今年も安全登山で楽しみましょう。

アルプスや沢や岩、是非気をつけて、楽しい思い出をたくさん作ってくださいネ!

さて、139号は7月末原稿締め切り、8月10日印刷・仕分け・発送の予定です。

